五瓣の椿（1964）

メディア 映画
ジャンル 時代劇　サスペンス　ドラマ
製作国　日本
色彩　Color
時間　163分
初公開日 1964/11/21

【解説】
　山本周五郎の同名小説を、井手雅人が脚色し野村芳太郎が監督。岩下志麻が亡き父の復讐に燃える女を熱演した。川又昂の流麗なカメラワークも評価されている。
　天保五年、むさし屋喜兵衛の邸宅が全焼し、喜兵衛とその妻おその、そして娘のおしののものと見られる三人の焼死体が見つかった。数ヶ月後、人気三味線弾きの蝶太夫はおりうという娘に熱を上げていた。おりうは蝶太夫がむさし屋のおそのと関係があったことを知る。翌朝、蝶太夫の刺殺体が発見される。枕元には椿の花が置かれていた。婦人科の得石は、かつて彼はむさし屋のおそのと関係を持ち、彼女から得た金を元に開業したのだった。その得石が刺殺され、やはり椿の花が置かれているのが発見される。

【クレジット】
監督　野村芳太郎
製作　城戸四郎
　　杉崎重美
原作　山本周五郎
脚本　井手雅人
撮影　川又昂
美術　松山崇
　　梅田千代夫
音楽　芥川也寸志
出演　岩下志麻
　　田村高廣　　Takahiro Tamura
　　伊藤雄之助
　　小沢昭一
　　加藤剛
　　早川保
　　左幸子
　　西村晃

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.